

ラウンドハウス

リビングの大黒柱を中心とする家族の求心性を高める事を目的とし、家族が常に一緒に遊び暮らすといった、昔ながらの「家族の輪(ラウンド)」をコンセプトとした住宅です。

■主要用途：住宅
■概算工事費：3,800万円

■想定家族構成：夫婦2人 子供2人
■規模：木造2階建
延床面積 188.60㎡(57.05坪)

■平面計画について

建物の平面形状を正円とした理由は、リビングの大黒柱を中心とする家族の求心性を高めることを目的としている。家族が常に一緒に遊び暮らすといった昔ながらの「家族の輪」を意識し、古い民家に見られた大黒柱をシンボルとした間取りを、ラウンドという「円形」に表現した。

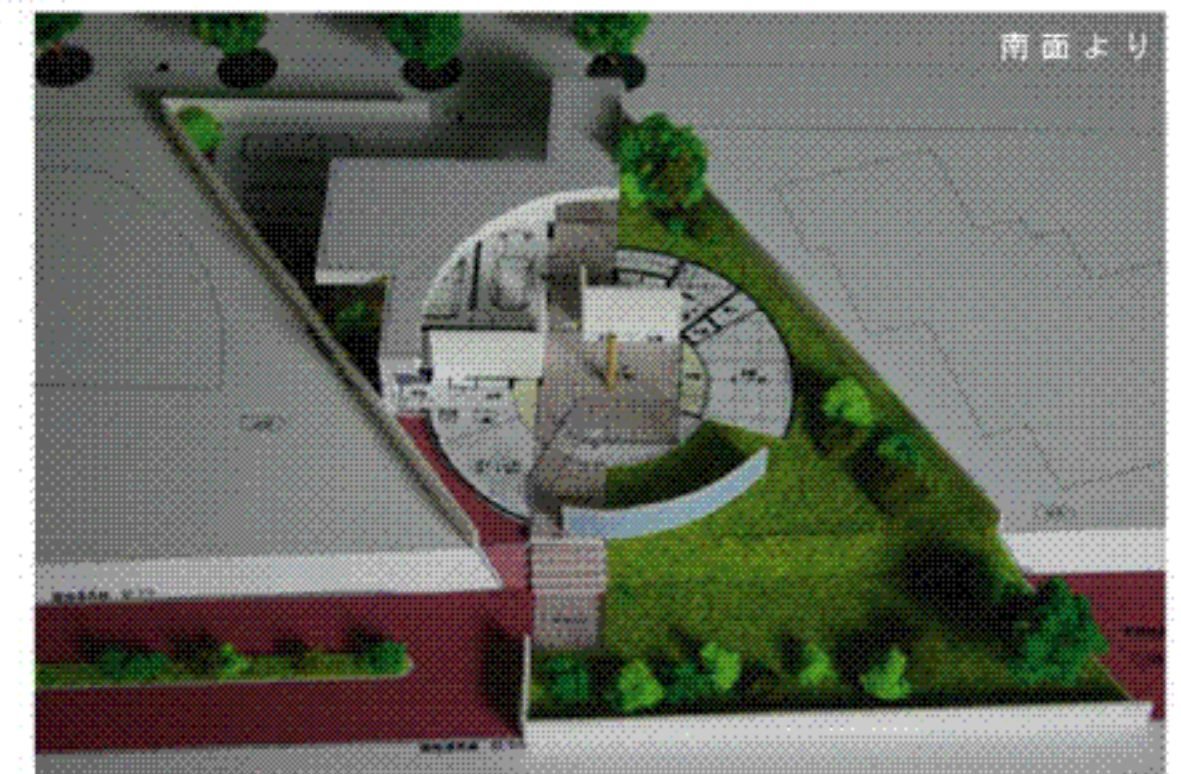
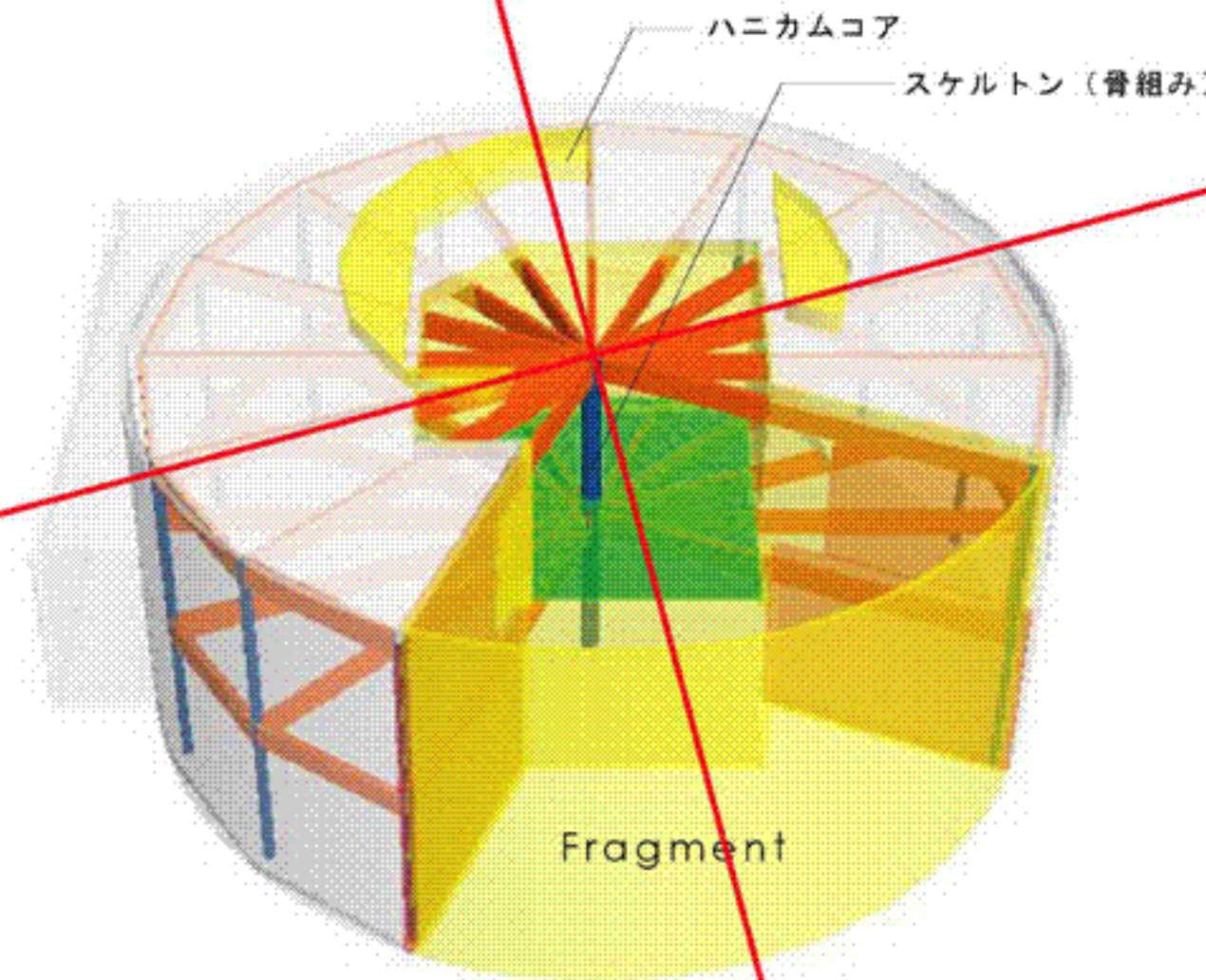
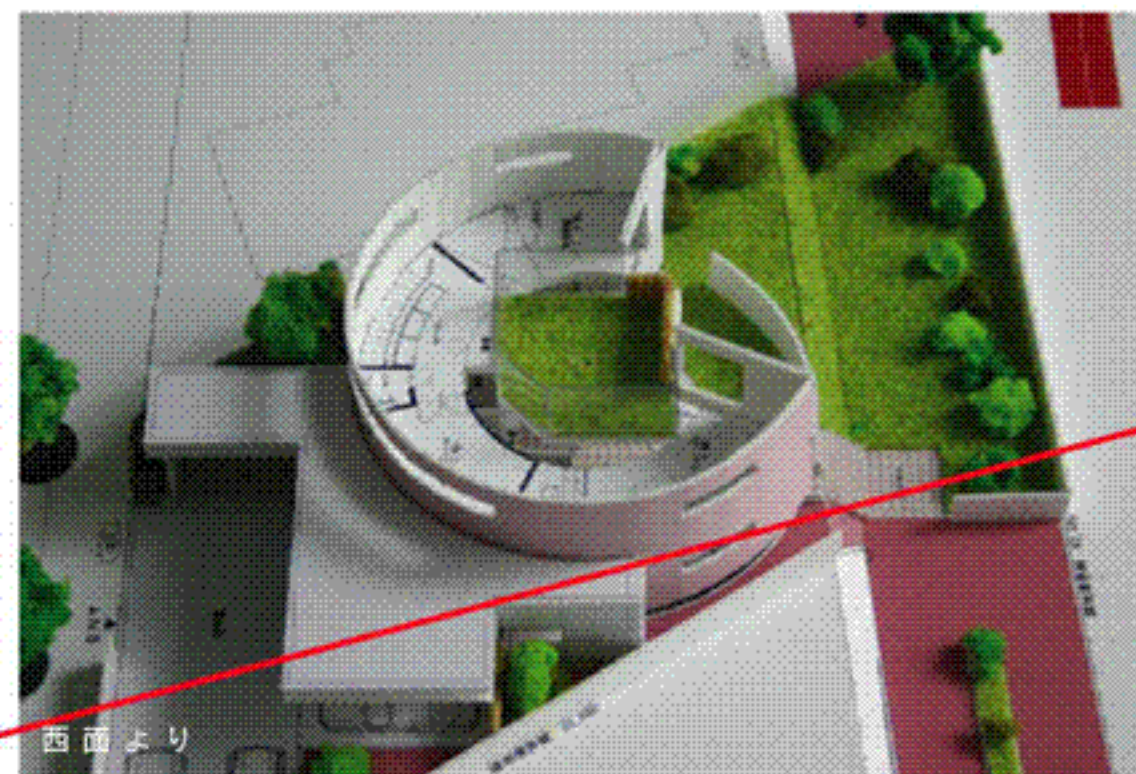
このラウンドハウスは、光射す開放的でリゾートのような感覚を生活に取り入れてもらうため、一部分が欠けている。この欠けたスペースをFragmentと名づけ、ここが光で満たされることで、ラウンド(丸型)として完成するという意味を込めた。

また、リビングを生活の中心に据えることで、台所、ユーティリティ、和室への動線がよりスムーズとなり、効率的で開放感あるスペースを確保することができた。ポーチからリビングを抜け、テラス、外庭へと続く連続した南北を貫く動線は暮らしを楽しむための大きな特徴である。

■配置計画について

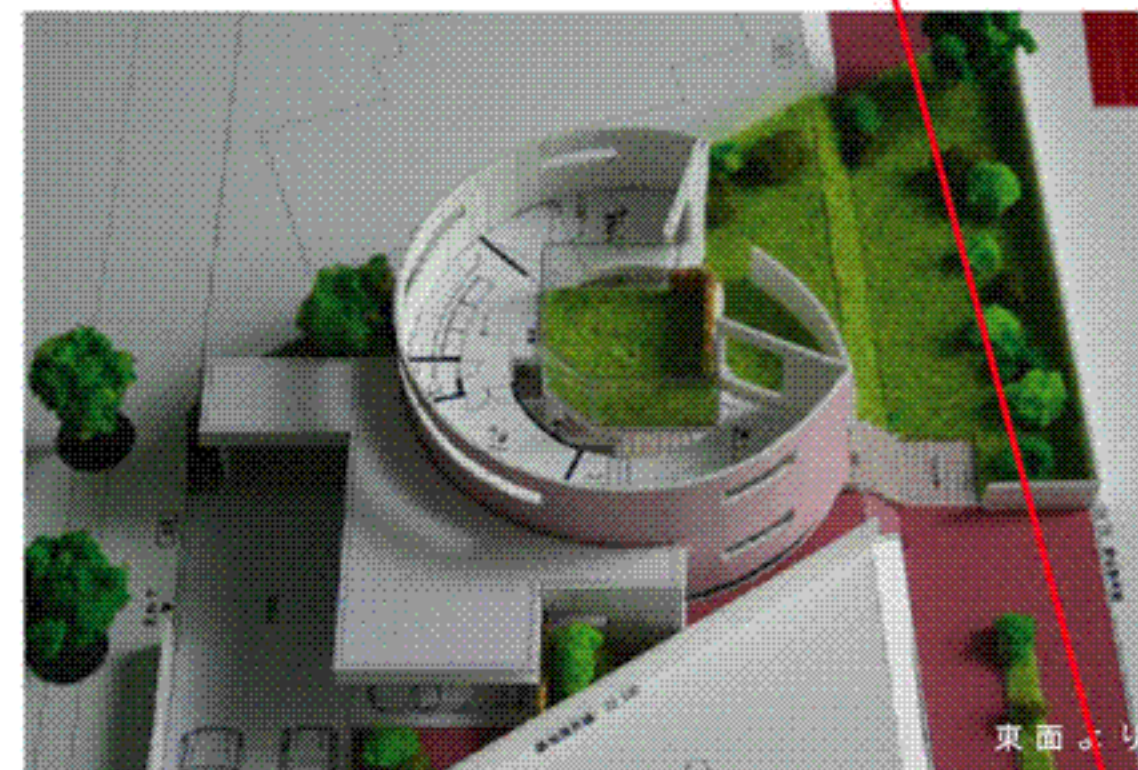
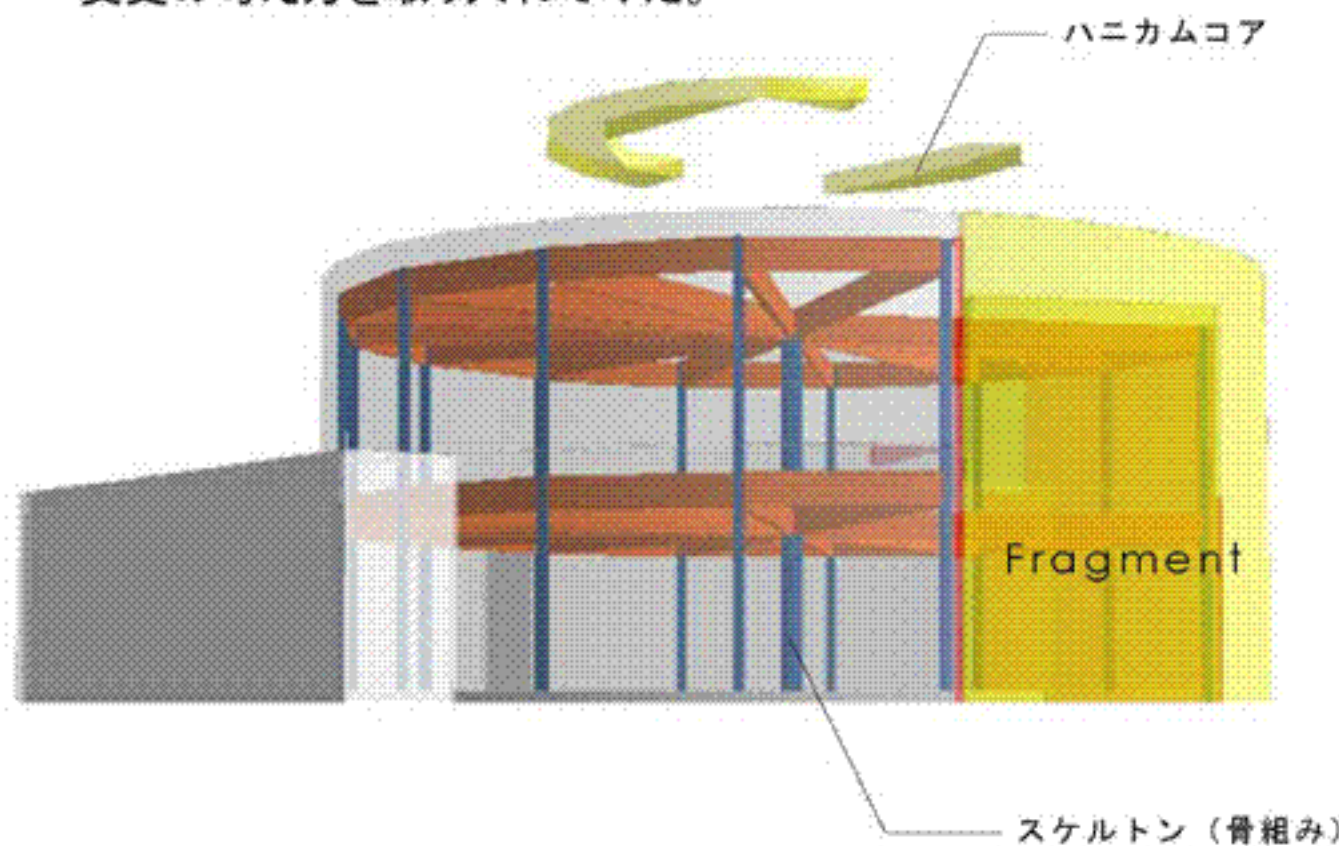
北西側に駐車場と車庫を配置し、南東に中庭・外庭を配し、主要室(リビング、ダイニング、台所、和室、ベッドルーム、子供室)全てから中庭・外庭が一望できる計画とした。

外庭の東側には家庭菜園スペースを、西側にはお子様を中心にご家族で楽しめるサイクリング、ジョギングコースを設けた。



■構造計画について

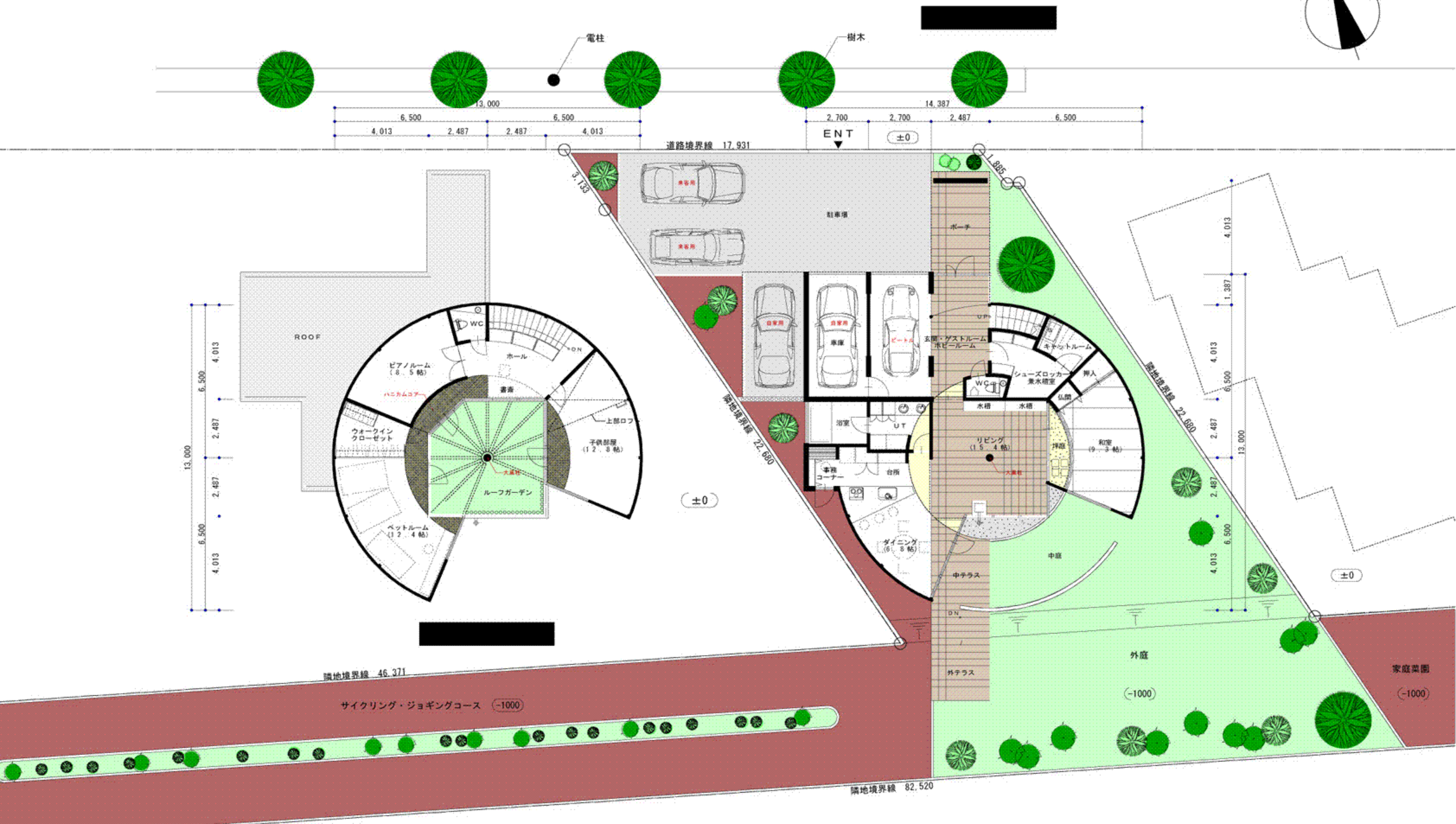
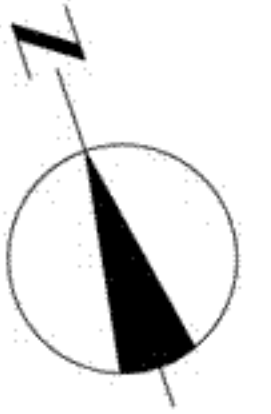
主要構造部を、木造(SE工法)とすることで、大規模無注空間を実現することができる。この工法を取り入れることで、将来的な間取りの変更等が容易になり、スケルトンインフィルという、ライフスタイルの変化に応じて対応できる間取り変更の考え方を取り入れてみた。

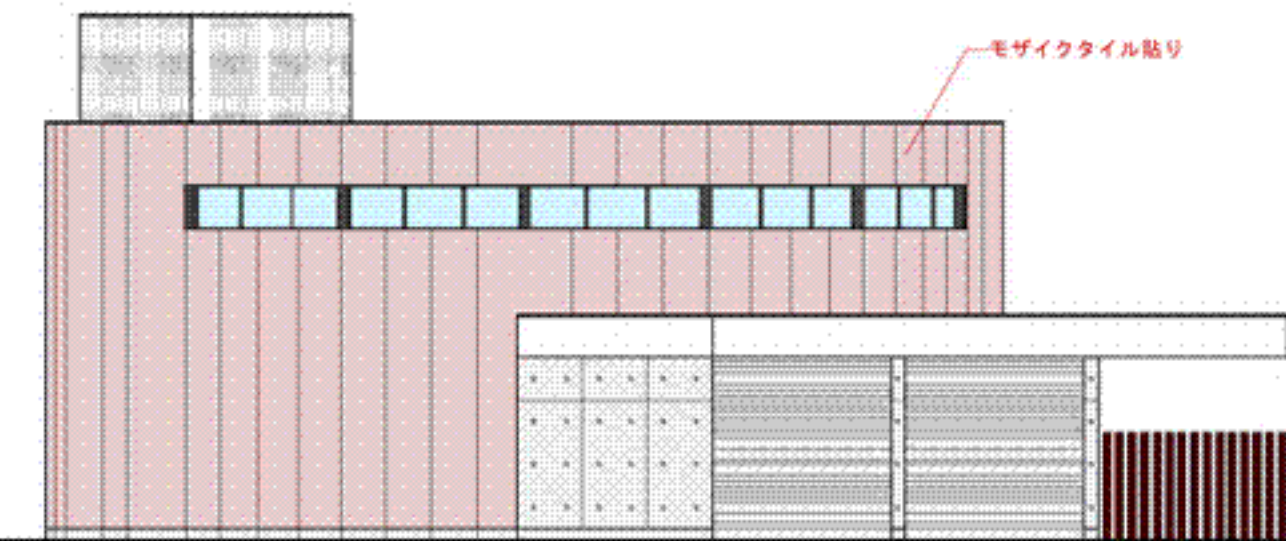
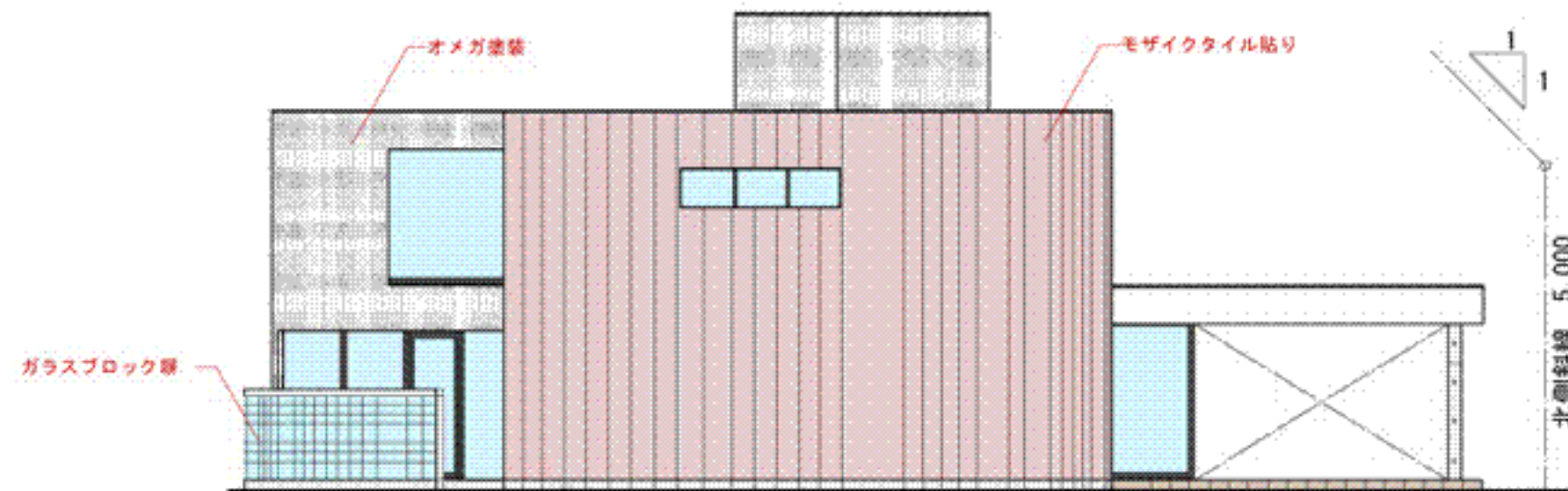
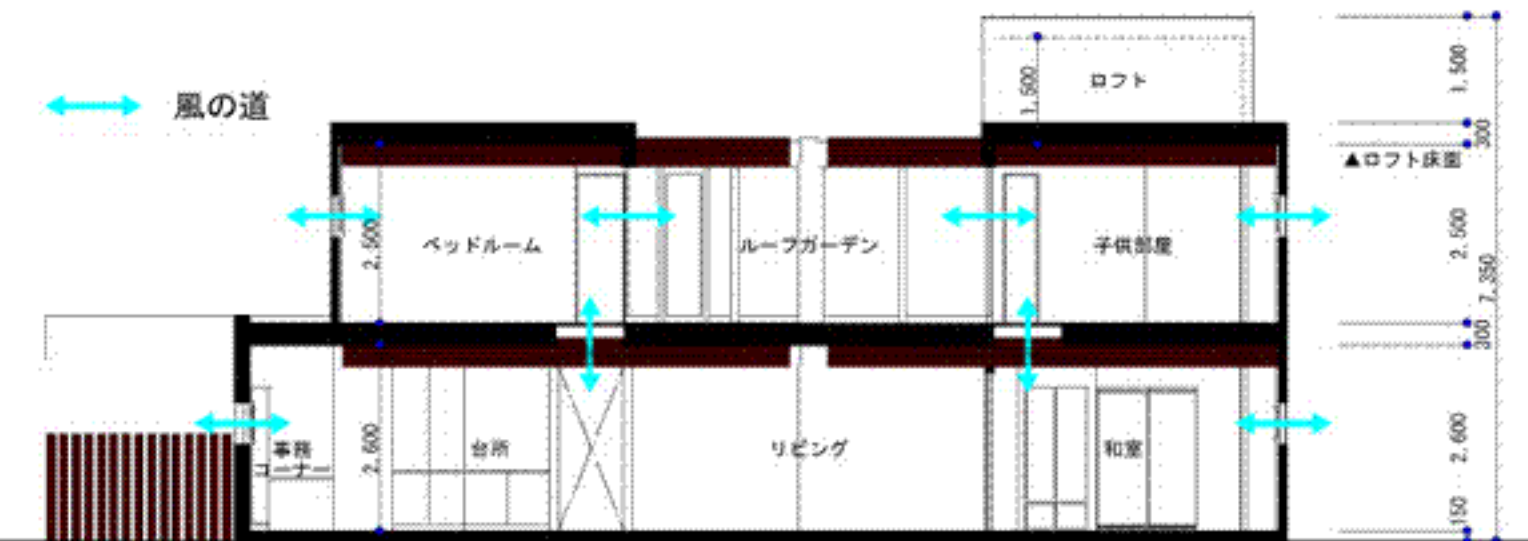
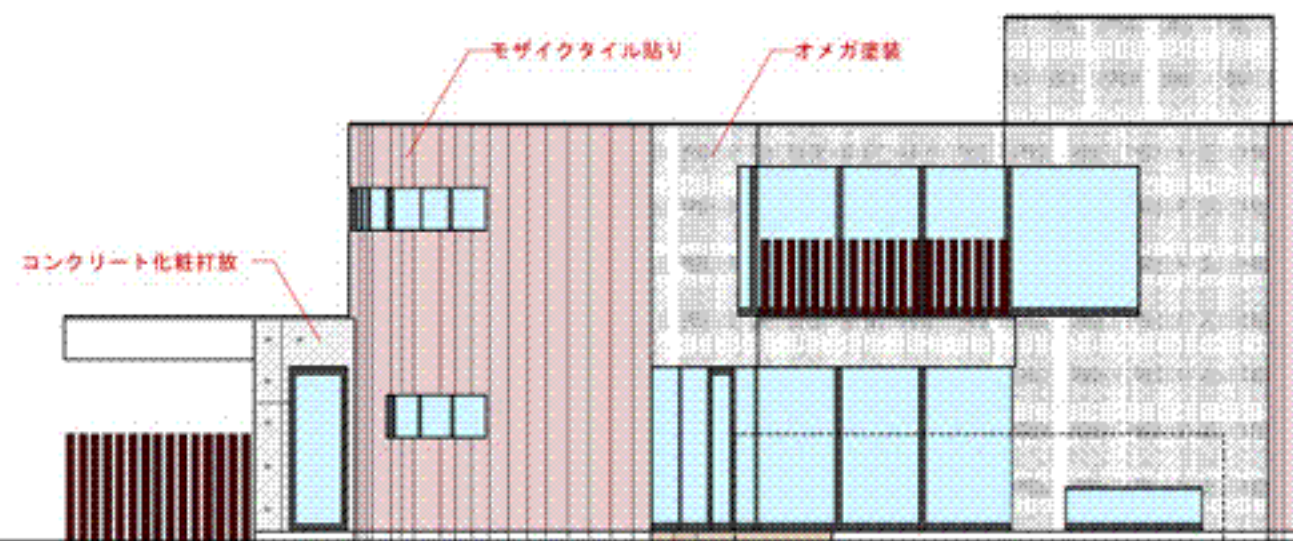
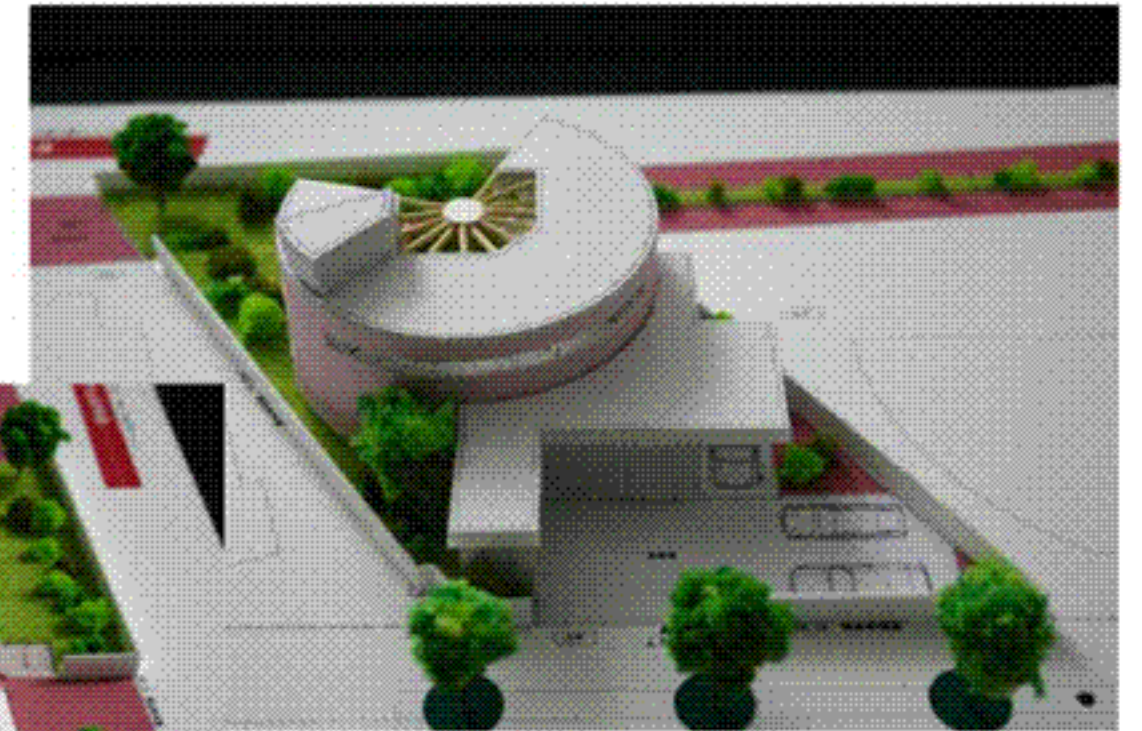
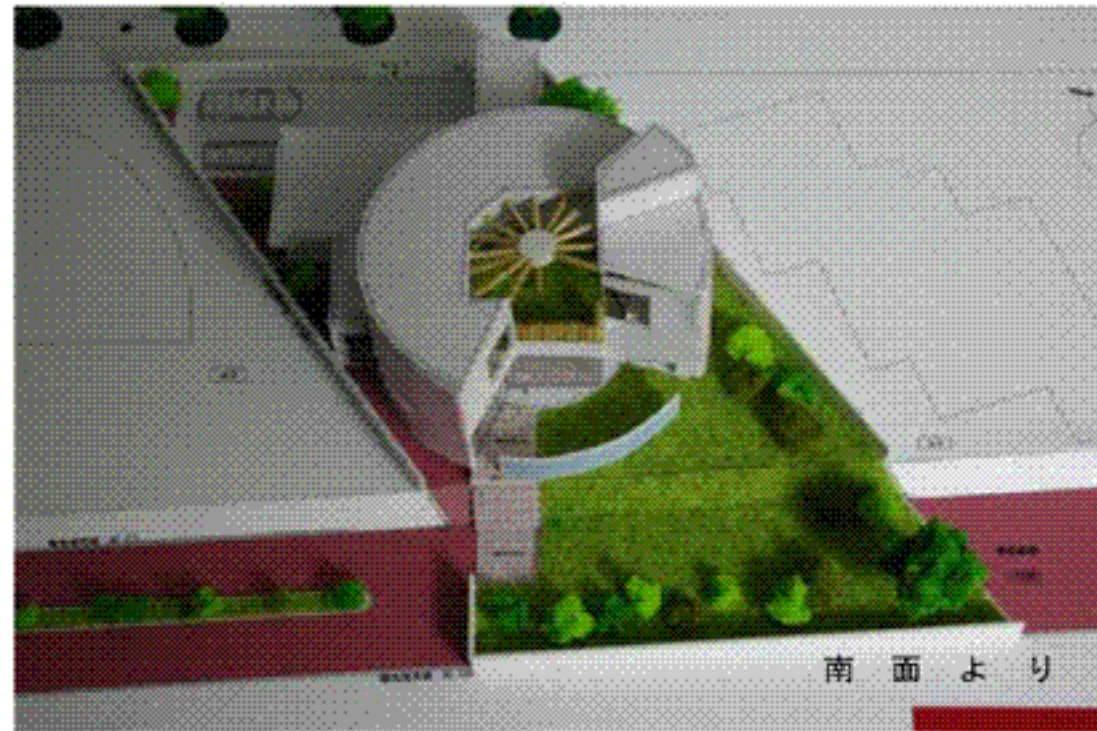


■太陽光と通風とプライバシーについて

真南にぽっかりと開いた90度のFragmentは、主要室にまんべんなく太陽の光をふりそそぎ、2階の部屋の床に採用したハニカムコア(光透過性のある素材)により、1Fの諸室への明るさを確保している。Fragmentから各居室の高窓、二階ホールハニカムコアを通った風はラウンドハウス内をめぐることによって快適性が増すこととなる。

大開口部はFragmentに面している部分のみとし、その他の外壁面には通風と採光のための最小限の窓とすることで、プライバシーを確保した。また、中庭にはガラスブロックでの塀を取り付けることで、一階リビングからFragmentに向かって開かれる空間が外へ「開く」ことなく、内への空間をより豊かなものにする工夫を施した。





面積表	敷地面積	882.99㎡ (267.10坪)	容積率	21.36% < 60.00%	1 F	107.17㎡ (32.42坪)	1 F	136.33㎡ (41.24坪)
	建築面積	155.59㎡ (47.07坪)	建ぺい率	17.62% < 40.00%	2 F	81.43㎡ (24.63坪)	2 F	81.43㎡ (24.63坪)
	構造	木造 (SEI法) 一部鉄筋コンクリート造		法定延床面積	188.60㎡ (57.05坪)	施工面積	217.76㎡ (65.87坪)	